

# ネパール・ヒマラヤ主な山群概要

## ① ダウラギリ山群

サンスクリット語で「白い山」を意味するこの山群は、ヒマラヤを断ち切って流れるカリ・ガンダキの大峡谷を挟んでアンナプルナ山群の西側に位置する山群です。主峰のダウラギリI峰(8,167m)は世界第7位の高峰で、ネパールで一番人気のトレッキングコースのゴラバニ峠から、迫力ある雄姿を見ることができます。



▲ムクチナートより望むダウラギリI峰(8,167m)

## ④ ランタン山群

イギリスの探検家ティルマンが世界でもっとも美しい谷の一つと称したランタン谷を形成する山群。ランタンリルンをはじめ、ガンチェンボ、ランシサリなど、数多くの名峰がそそいます。ネパールの首都カトマンズからもっとも近い山群であり、天気の良い日にはカトマンズからでもこの山群を展望することができます。



▲夕陽に染まるガンチェンボ(6,387m)

## ⑤ ロールワリン山群

ネパール・ヒマラヤの中では、比較的小さな山群で、7,000m峰はガウリシャンカールとメンルンツェ(中国領土)のみです。この地域を初めて訪れたのは1951年のシブトン隊長率いるイギリス隊であり、当時、イエティ(雪男)のものらしい足跡を発見し、大きな話題を呼びました。



▲名峰ガウリシャンカール(7,134m)

## ⑥ クーンブ(エベレスト)山群

いわずと知れた世界最高峰エベレスト(ネパール名サガルマータ、中国名チョモランマ)がそびえる山群です。ローツェ、マカルー、チョー・オユーなどの8,000m峰や、7,000m級の名峰が数多く並んでいます。空港のあるルクラは、この山域のトレッキングの玄関口となっています。



▲夕陽に染まるエベレスト(8,848m)

## ② アンナプルナ山群

サンスクリット語で「豊穡の女神」を意味するこの山群は、ネパール・ヒマラヤの中央部に位置し、ポカラの街からは、屏風絵のような連なりが展望できます。主峰のアンナプルナI峰(8,091m)や、アンナプルナII峰、IV峰、南峰、マチャブチャレなど名峰も数多く、山群周辺には人気のトレッキングコースも多数あります。



▲ポカラから望むマチャブチャレ(6,993m)

## ③ マナスル山群

マナスル3山と呼ばれるマナスル、ピーク29、ヒマルチュリの3座がそびえる山群。マナスルは1956年春、日本山岳会の今西寿雄隊員とギャルツェンノルブ隊員が世界初登頂に成功し、日本人が初登頂した8,000m峰として大きな話題を呼んだなじみの深い山です。



▲サマより望むマナスル(8,163m)

## ⑦ カンチェンジュンガ山群

世界第3位の高峰カンチェンジュンガを中心として、ネパールとインドのシッキムの国境稜線付近にある山群です。眠れる獅子の異名をもつ怪峰ジャヌーも、この山域の名峰の一つです。とくにシッキム地域は、ベンガル湾からのモンスーンを受けやすいため、多種多様な動植物が豊富にあります。



▲バンネマからのカンチェンジュンガ(8,586m)

## 仲間と行くからこそ楽しい

日本にヒマラヤ・トレッキングを紹介して47年目、当社は一貫してグループ・トレッキングをご案内してきました。豊富な経験と知識を持ったガイドとツアーリーダーが同行することでの安心感はもちろん、何より感動を共有できる仲間との旅こそ、トレッキングの楽しさの醍醐味だと思います。近年のネパール・ヒマラヤ・トレッキングでとくに感じるのは、欧米からのトレッカーもグループでトレッキングするスタイルが増えていることです。きっと同じ価値観で感動を共有できる仲間との旅の魅力が、改めて見直されてきたからこそだと考えております。



▲クムジュン付近より望むカンテガ(中央/6,799m)とタムセルク(右/6,623m)